

知能に重い障害をもつ人たちの施設

社会福祉法人^{みぎわ}汀会

止揚学園寄付金趣意書

人間を大切に

止揚学園後援会寄付金委員会



趣 意 書

小鳥のさえずりの中で、山野が太陽の光にキラキラと輝いています。この美しい自然に囲まれた止揚学園は、創立から四十六年を歩んできました。

そして、この長い間、沢山の明るい時を持つことができました。しかし、困難や悲しみにも出会いました。その中で忍耐を持ち、笑顔を失くさず歩めたのは、皆さまの温かいお祈りと、優しいお支えがあったからこそです。皆さまの愛に、多くの人のお心に包まれることほど幸せなことはありません。喜びと感謝の四十六年でした。ありがとうございました。

先日、癌で天上に召された知人の手紙が、告別式が終って二日後に届き、驚きました。その手紙に、いくつも心打たれる言葉がありました。その一つに、「私が強い時、（人に愛される）ということを大切にしていました。だから、他人から冷たくされると、その人に憎しみを持ち、非難をして心を暗くし、生きることに疲れていました。病が重くなり、弱さを持つようになってから（人を愛そう）と思うようになりました。不思議なことに、それからの私は、明るい笑顔が増えてきました。そして、（愛されることより、愛することが人間の一番の幸せ）ということを知りました。私は、間もなく皆さまの所に旅立つと思います。今、深い幸せを感じ、明るい心を持っています。だから、私がこの世を去る時は、涙でなく、笑顔で送ってください」と書かれていました。

「愛されることより、愛することが人間の一番の幸せ」という言葉に、私たちは深いものを教えられました。そして、この手紙を読みながら（これから止揚学園は、どんな小さなことにも大きな愛を持ち、優しい心を忘れず、他者と共に歩もう）と心を熱くしました。私たちは、今、愛される止揚学園であると共に、総ての生命あるものを愛する止揚学園になる大切さを感じています。

全国と同じような思いで歩んでいる施設を、そして止揚学園を、これからも精神的に、経済的に祈り、支えていただければとても嬉しいです。今までのように、温かく共に歩み、励ましていただければ深い感謝です。

皆さまの上に、皆さまのお恵みが包み、明るい笑顔が満ちますことを念じつつ、お願いにかえさせていただきます。

二〇〇七年十一月一日

止揚学園寄付金委員会

代表 福井光子

募金のおねがい

いつも、喜びを身体いっぱい表し、「ゲゲ」と大きな声を出していた京子さんが亡くなりました。

私たちが疲れている時、京子さんの「ゲゲ」という明るい声や笑顔はその苦しみを追い払い、前進する大きな泉でした。その中で、(私たちの力となってくれる京子さんや入園している仲間たちの素晴らしい笑顔を消さないで歩もう)と私たちは今日まで歩み続けてきました。

さて、この笑顔を守るには、優しい心、理想や情熱という見えないものが大切になってきます。

現代は福祉の世界も、この非合理的な見えないものより、お金や物、形や組織等の見える合理的なものを優先するようになってきました。そして、心を基とする福祉より、お金を重視する福祉企業が増えていきます。

この現実に関われ、私たちが福祉を

守ろうとすると、国や社会が進める福祉企業から外れてしまいます。しかし、日本は法治国家です。だから、私たちは国が作る法律や進める方向を守る義務と責任があります。

法律は不思議なことに、強い人間を守り、弱い者を切り捨て、私たちの仲間の笑顔を消してしまう性格を持っています。ここに、私たちの苦悩があるのです。しかし、この苦しみの中で(一日も早く、仲間たちのニコニコ笑顔が守られる優しい時代を創ろう)と止揚学園は祈り、忍耐し、歩んでいます。

この深い悩みを持ちながら、(優しい心を失くさないで)と思い、歩んでいる私たちを、皆さまの温かいお祈りとお心でお支えいただければ、こんな喜びはありません。皆さまのお励ましは、前進の力です。

よろしくお願いいたします。

止揚学園

代表 面条義清

本の紹介

弱いことこそ強いのです	海竜社	1,300円	〒290円
僕アホやない人間だII	海竜社	1,300円	〒290円
一人は力です	海竜社	1,300円	〒290円
あなたは何処に行くのですか	海竜社	1,300円	〒290円
ゆっくり歩こうなあ	海竜社	1,326円	〒290円
子どもの笑顔を消さないで	止揚学園	1,500円	〒290円
子どもは間のなかに輝いている	こども福祉社	1,835円	〒290円
愛が咲いたよ	こども福祉社	1,630円	〒290円
見えないものを	こども福祉社	2,040円	〒290円
愛がいつばいっばい	倍成社	2,415円	〒290円
ボスがきた	倍成社	1,260円	〒290円
みんなみんなぼくのともだち	倍成社	1,260円	〒290円
こわいことなんかあらへん	倍成社	1,260円	〒290円
みなみの島へいったんや	倍成社	1,260円	〒290円
あばあちゃんをすてちゃいやだ!!	倍成社	1,260円	〒290円
およげなかったかも	倍成社	1,260円	〒290円
子どもの笑顔を消さないで	倍成社	1,260円	〒290円
にわとりさんはネ...	倍成社	1,260円	〒290円
はしれムンシー!	倍成社	1,260円	〒290円
季刊誌 止揚	止揚学園	300円	送料80円

CD「この道さかのぼれば」定価2,940円 送料200円
心温かい福井達雨のメッセージと、思わず口ずさんでしまう明るく優しい手作りの歌が心に響きます。
ぬくもりカレンダー(2008年版)定価200円 送料140円
止揚学園の仲間たちが描いた色鮮やかな絵を配した大判ポスターカレンダーです。今回は半分に切っても飾れるよう、デザインを変えてみました。

もし、よろしければ、止揚学園に御注文下さいませ。喜んで送らせていただきます。

注文先 〒521-1222 滋賀県東近江市佐野町885
止揚学園 電話 0748 ④ 0635
FAX 0748 ④ 0806

作葉園の繪
五枚の作
止揚學園
品がに
書に

価格 5枚一組200円
(送料 80円)

「止揚學園は建築物も、調度品も、衣服も、総てが色彩豊かで、美しい」とよく見学に來られた人たちが言われます。その色彩は入園している仲間たちが愛している心の色です。この度、生まれた仲間たちの心も、美しいのでキラキラしています。美しい泉の絵書を手にしたとき、優美な心を育んでくれる。この絵書は、よい心だけではない、明るい心だけを育てる。

近年、知能に重い障害を持った仲間たちの人権を守る運動が強くなってきました。喜ぶべき事です。しかし、国や偉い人たちがその人権擁護運動を進めれば進めるほど、仲間たちが切り捨てられる現実があります。なぜ、こんな不思議な事が起きるのでしょいか。

本来、人権は人間を基にして生まれるもので、人間と人権は一つのものであります。しかし、現在はこの二つが切り離され、人権が一人歩きをし、大切にされています。そして、幹となる人間が軽視され、大切にされないというねじれ現象がおきています。それが私たちの仲間が生きていけなくなる原因になっていると思えてなりません。

さて、人間から人権が離れたのは、私たちが人権を強く主張し、人間の尊厳を忘れた事に原因があります。

人権は正義を基盤として成り立ちます。正義は（自分が正しく、相手が悪い）という考え方で力を発揮します。だから、自分の正しさを強く主張できる強者の正義が尊重され、弱者の正義は捨てられてしまいます。強者の側か

ら進められる人権が強くなり、弱者の生存権が奪われます。そして、弱者は人間として大切にされなくなります。強者が得をして、弱者が損をする。強者を守るために人権がある。それが今の日本の姿なのです。

人間には温かい心があります。しかし、人間から離れた正義は血の通わない冷たいものになっています。そして、相手を裁き、非難し、心を傷つけ、時には生命を侵してしまいます。また、人権が人間不信を強くさせ、冷たい人間関係を育ててしまいます。だからこそ、人権は温かい心を持つ人間から離れてはいけません。

人間から生まれた人権は厳しさと共に、人を許し、生かす優しさを持っています。人間を大切にしない人権は、人間を不幸にするものなのです。

私たちは、今、進んでいる人間を忘れた人権主張を深く反省し、人間を基にした人権運動を育てる必要があります。その時、知能に重い障害を持った仲間たちが切り捨てられない、真の人権尊重の日本が生まれてくるのです。

人間を大切に

人間を大切に

収入の部	
後援会寄付金	21,729,459円
雑 収 入 <small>(預金利息を含む)</small>	4,893円
前期繰越金	471円
	21,734,823円
支出の部	
印 刷 費	325,594円
通 信 費	1,608,184円
経常会計繰入金	4,500,000円
建 築 費 <small>(おがたホール新築工事)</small>	15,000,000円
施設整備準備金	300,000円
雑 費	316円
	21,734,094円
次期繰越金	729円 <small>(2007年7月末日現在)</small>
施設整備準備金、第42期・43期・44期分の合計900,000円は、施設整備のために積立ててまいります。何卒、このためにもお祈り下さいませ。準備金並びに次期繰越金は銀行預金いたしております。	

今年の思い出

この一年を振り返ってみます。

(1) 自動車をいただきました。入園している仲間たちに車椅子の人が増えてきました。先日、亡くなった仲間の両親が「その人たちの外出に役立ててください」と車椅子のまま乗れる自動車を、故人の記念として贈ってくださいました。車は通院や外出に活躍し、車椅子の仲間たちの笑顔が増えました。感謝です。

(2) 記念の集いをもりました。止揚学園の季刊誌「止揚」が百号になりました。「止揚はばたきの集い」を開きました。沢山の人たちが参加してください、静かな感謝礼拝や、美しい曲に心を洗われる小林道夫先生のピアノ演奏会があり、豊かな、楽しい一日を過ごしました。私たちはこんなに多くの人たちが「止揚」を愛読し、温かく支えてくださっていたことに心を熱くしました。

(3) 外国の研修生が来ています。パキスタンのカラチで知能に障害を持った子どもたちの施設長をしている女性が、止揚学園で研修をしています。「ここに来て、技術や見えるものだけでなく、心を学び、本当に良かったと思います。帰国をした

ら、心のある施設を育てます」と語り、明るく過ごしています。

(4) 畑が豊かになりました

止揚学園の畑で、玉ねぎ、キャベツ、レタス、きゅうり、なすび、さつまいもなどが沢山とれて、食卓に新鮮な野菜がいつものついています。

この畑は近所の人たちが手伝いに来てくださり、入園している仲間たちと共に野菜を育ててくださっています。皆の笑顔が溢れている畑の収穫物は心がこもっていて、とてもおいしいです。奉仕して下さる人たちに感謝で一杯です。

人の心で支え合う止揚学園には、いつも優しさが満ちています。

この寄付金につきましては、個人の場合は所得税法、法人の場合は、法人税法等の定めにより、税金控除の対象となります。その場合は、社会福祉法人団会の発行させていただきます領収書を御利用下さいませ。

寄付金事務所

滋賀県東近江市佐野町八八五
社会福祉法人 止揚学園
振替口座 〇一〇三〇一六一五四一九
口座名義 止揚学園

電話 (〇七四八) 42〇六三五
FAX (〇七四八) 42〇八〇六

この寄付金趣意書の余分がございましたら、もし、御利用いただける場合、御連絡下されば送らせていただきます。



「みんなで 作ったよ」

クッキー作ったよ
野菜も作ったよ
ミミズも 青虫も
みんなみんな 友だちだ
ニコニコ笑顔で手をつなぎ
大きな大きな輪になって
クッキーも 野菜も
作ったよ
力を合わせて 作ったよ

